

**平成 21 年度緊急地震速報講演会**  
**「あなたを 大切な人を 守りたい」**  
**の開催について**

気象庁では、きたる平成 21 年 12 月 1 日（火）に、緊急地震速報利用者協議会と共催で、平成 21 年度緊急地震速報講演会「あなたを 大切な人を 守りたい」を開催いたします。

昨年発生した「平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震」、今年 8 月 11 日の駿河湾の地震など、地震による災害は毎年のように発生しています。こうした災害から、子供や家族など、大切な人たちを守りたいというのは全国民共通の願いだと思います。

一昨年に一般向けに提供を開始した緊急地震速報は、災害から大切な人を守るための有力な手段の一つです。これまでも、ご家庭や学校、保育園などで子供たちを安全な場所に避難させたという事例も報告されており、緊急地震速報を見聞きした時に、周りの人たちに声をかけ、まず身の安全を守るという意識が徐々に定着しつつあるといえます。今後、できる限り多くの方々にこのような意識を持っていただきたいと思います。

今回の講演会は、「あなたを 大切な人を 守りたい」をテーマに、災害時はもちろん、事前の備えとして、我々はどうのように行動すれば、家族や、子供や、大切な人を守るのかを、自らのこととしてお考えいただく機会として開催いたします。講演では、実際に多くの小学生が犠牲になった地震の事例から、子供たちを災害から守るためには何が必要なのかについて、また、家族を守るために緊急地震速報をどのように効果的に利用できるのかについて、講師お二人の貴重な体験をもとに、お話しいたします。

緊急地震速報のより一層の理解のため、また、一步踏み込んだ具体的な防災対策についてのご検討のため、この機会にぜひご聴講ください。

講演会の場所や講師、申し込み方法など詳しくは、別紙をご覧ください。

本件に関する問い合わせ先： 気象庁地震火山部管理課

電話 03-3212-8341 (内線 4505、4516)

1 名称 平成 21 年度緊急地震速報講演会

「あなたを 大切な人を 守りたい」

2 期日 平成 21 年 12 月 1 日 (火)

時間 受付 11 : 00 開場 12 : 30 開演 13 : 00 終演予定 15 : 00

3 場所 日本教育会館(一ツ橋ホール)

(東京都千代田区一ツ橋 2 - 6 - 2)

4 主催 気象庁 緊急地震速報利用者協議会

5 演題

(1) 子どもを災害から守りたい～日本海中部地震の教訓から～

講師 池上 彰 (いけがみ あきら) フリージャーナリスト

概要 小学生が数多く犠牲になった日本海中部地震の講師の取材体験等を元にした防災全般についての講演。また、気象庁職員との Q&A 形式で、緊急地震速報についてやさしく解説。

(2) 家庭でできる地震対策～我が家の対策事例～

講師 国崎 信江 (くにざき のぶえ) 危機管理アドバイザー、

緊急地震速報評価・改善検討会委員

概要 家族が安全・安心に過ごせるよう様々な地震対策を施した国崎邸をモデルに、一般家庭でもできる地震対策を、緊急地震速報の活用と併せつつ紹介。

6 定員 800名 予約制(入場料無料)

※ 往復はがきもしくは気象庁ホームページからの事前予約が必要です。

応募方法等については、気象庁ホームページをご覧ください。

7 問い合わせ先

気象庁地震火山部管理課 TEL 03-3212-8341 (内線 4505、4516)

URL <http://www.jma.go.jp/>

※ 同日 (11 時～16 時)、一ツ橋ホール内ホワイエにおいて、緊急地震速報利用者協議会主催(気象庁後援(予定))による「緊急地震速報関連機器展示会」を開催いたします。この展示会では、緊急地震速報利用者協議会の会員による緊急地震速報提供サービスの紹介、緊急地震速報受信端末の展示・実演及び関連防災機器等の展示が行われます。

## 講師の紹介

### 池上 彰 (フリージャーナリスト)

1950年、長野県生まれ。1973年、NHKに記者として入局。松江、呉での勤務を経て、東京の報道局社会部。事件、事故、災害、消費者問題、教育問題等を取材。気象庁記者クラブに在籍したこともあり、日本海中部地震、阪神・淡路大震災、中越地震等も取材。1994年から2005年まで「週刊こどもニュース」キャスター。2005年に独立。現在はフリージャーナリスト。

主な著書に、『そうだったのか！現代史』『そうだったのか！日本現代史』（以上、集英社文庫）、『わかりやすく伝える技術』（講談社現代新書）、『伝える力』（PHPビジネス新書）など。

### 国崎信江 (危機管理アドバイザー)

危機管理アドバイザー。危機管理教育研究所代表。女性として、母として、「子どものいのちを守る」研究を中心に独自の視点で、防災・防犯対策を提唱している。講演、執筆、プログラムコーディネイトなどを行う傍ら、気象庁「緊急地震速報評価・改善検討会委員」、文部科学省「地震調査研究推進本部政策委員会委員」などを務める。現在は講演活動を中心に各メディアでも情報提供を行っている。

主な著書に「地震からわが子を守る防災の本（リベルタ出版）」、「地震から子どもを守る50の方法（ブロンズ新社）」など。